

臨濟禪師1150年
白隠禪師250年遠諱記念

見て感じる
禪問答

心をかたち

禅

ZEN

The Art of
From Mind to Form

4月12日[火]~5月22日[日]

開館時間 午前9時30分~午後6時
金曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日

京都国立博物館
平成知新館 (東山七条)



主催: 京都国立博物館、臨濟宗黄檗宗連合各派合議所
日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞
協賛: 損保ジャパン日本興亜、東レ、トヨタ自動車、日本写真印刷、みずほ銀行
協力: 岩谷産業、松栄堂

国宝 20点
重文 100点
禅の真髄、名宝の数々!

国宝
慧可断臂図
5/3~5/22展示

国宝 慧可断臂図(部分) 雪舟等楊筆 愛知・青年寺(5月3日~22日展示)

記念イベント

① 記念講演会「禅における〈心〉のかたち」

4月16日(土) 13:30-15:00
講師: 花園大学国際禅学研究所 所長 野口善敬氏

② 講演会

「禅と水墨画 雪舟と白隠を中心として」

4月24日(日) 13:30-15:00
講師: 明治学院大学 教授 山下裕二氏
臨濟宗妙心寺派龍雲寺 住職 細川晋輔師

③ 関連土曜講座

4月23日(土) 「禅画と墨蹟—近世の禅林美術—」
4月30日(土) 「頂相彫刻の特質」
5月 7日(土) 「仏師の古文書」
5月14日(土) 「喫茶の広まりと寺院」
5月21日(土) 「画僧の系譜—明兆から雪村まで—」
いずれも 13:30-15:00
講師: 京都国立博物館 研究員ほか

④ 四頭茶会—禅院の茶礼

5月3日(火・祝) 13:30-15:00
協力: 臨濟宗大本山 建仁寺

⑤ 声明—禅の祈り

4月29日(金・祝) 13:30-14:30 協力: 黄檗宗大本山 萬福寺
5月8日(日) 13:30-14:30 協力: 臨濟宗大本山 相国寺

⑥ 狂言「にせ地藏」「でんでん虫」

5月15日(日) 11:00-12:00 「にせ地藏」
14:00-15:00 「でんでん虫」
協力: 千本ふんま堂大金佛狂言保存会

⑦ 坐禅会(イス坐禅+講話)

4月17日(日)、4月21日(木)、5月1日(日)
5月5日(木・祝)、5月12日(木)、5月19日(木)
日・祝: 11:00-12:00、14:00-15:00
平日: 14:00-15:00
協力: 臨濟宗黄檗宗連合各派合議所

⑧ ロビー講話

毎週火曜日: 11:00、13:00、15:00
毎週金曜日: 11:00、13:00、15:00、17:00
各回 15~20分
協力: 臨濟宗黄檗宗連合各派合議所

- 会場と定員 ①~⑦は、京都国立博物館 平成知新館講堂、定員180名。
⑧は、京都国立博物館 平成知新館1階グランドロビー西側、定員30~50名。
- 参加方法 ①~⑦は、当日プログラム開始1時間30分前、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。
- ⑧は、当日プログラム開始時間に、1階グランドロビー西側にお集まりください。スペースに限りがございますので、あらかじめご了承ください。
- 参加費 いずれも無料(ただし、本展の観覧券が必要です)。

観覧料

一般 —— 1,500円(前売・団体 1,300円)
大学生 —— 1,200円(前売・団体 1,000円)
高校生 —— 900円(前売・団体 700円)
ペアチケット—〈龍虎チケット〉2,400円
〔前売・一般のみ、1セット2枚、1名で2回使用可〕

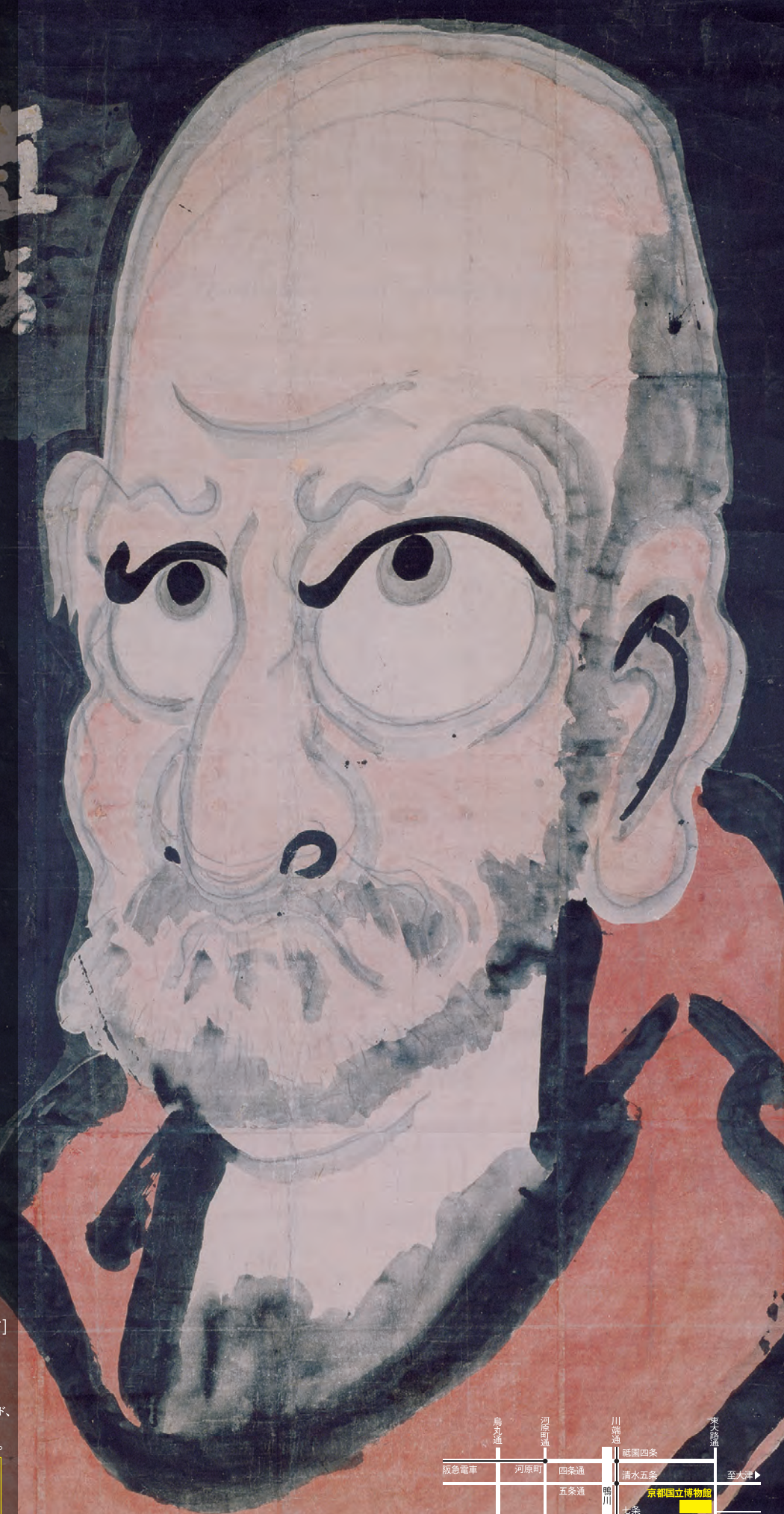
- ※団体は20名以上、中学生以下無料
- ※障がい者の方とその介護者1名は無料(障がい者手帳等をご提示ください)
- ※前売券・ペアチケットは4月11日までの期間限定販売。
- ※チケットの主な販売場所: セブンイレブン、ローソン、チケットぴあ、CNプレイガイド、イープラス、JTB各店舗ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストア。
- チケットの購入時に手数料がかかる場合があります。詳しくは本展公式サイトへ。

春の京都禅寺一斉拝観スタンプラリーで、
拝観寺院のスタンプを1個以上押されたスタンプラリー用紙のご提示で
本展を団体料金(当日観覧料の200円割引)でご観覧いただけます。
他の割引券との併用不可。詳しくは<http://www.zendera.info/>まで。

展覧会公式サイト <http://zen.exhn.jp/>



達磨像(部分) 白隠慧鶴筆 大分・萬壽寺(4月12日~5月1日展示)



京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
075-525-2473(アレホナービス)
<http://www.kyohaku.go.jp/>

達磨像
4/12~5/1展示

●JR-近鉄: 京都駅下車、市バス京都駅前D2のりばから206-208号、D1のりばから100号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ ●京阪電車: 七条駅下車、東へ徒歩7分 ●阪急電車: 河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分、または河原町駅下車、四条河原町から市バス207号系統にて東山七条下車、徒歩3分 ●市バス: 博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ、または東山七条下車、徒歩3分 ●本館はなるべく公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております。

4 禅の仏たち

禅宗は他宗にくらべると礼拝のための仏像が少ない派ですが、菩薩のような姿の宝冠釈迦如来、修行者である羅漢、伽藍の守護神など、禅宗寺院特有の尊像があります。特に黄檗宗の寺には、随元隆琦の考えに基づいて異国風を強く残した個性的な像が見られます。

重要文化財
宝冠釈迦如来坐像
院吉・院広・院通作 静岡・方広寺



十八羅漢像のうち
羅怛羅尊者 范道生作 京都・萬福寺

5 禅文化の広がり

日本と中国を行き来した禅僧たちは、禅の思想だけでなく、様々な風習や文物をもたらししました。その代表例は水墨画や詩画軸（漢詩文を備えた絵画）、喫茶などで、我が国の文化に大きな影響を与えました。また、室内を彩った巨大な障壁画や屏風は、禅宗文化の奥深さや多様性を示すものと言えるでしょう。



国宝 玳瑁天目 重要文化財 椿尾長鳥文堆朱盆
京都・相国寺(前期展示) 刻銘「張成造」あり 京都・興臨院(後期展示)



重要文化財 龍虎図屏風のうち虎図
狩野山楽筆 京都・妙心寺(後期展示)



国宝 瓢鮎図
大岳周崇等三十一僧賛 如拙筆
京都・退蔵院(前期展示)



重要文化財 竹図襖
伊藤若冲筆 京都・鹿苑寺

会期中、展示替えを行います。
[主な展示替え]
前期展示=4月12日~5月1日
後期展示=5月3日~5月22日
本展は2016年10月18日~11月27日に東京国立博物館に巡回します。
京マークは、京都展のみの展示作品です。お見逃しなく!

意外に身近な禅の世界

禅という坐禅修行のイメージが強く、難解で一般的な生活とはほど遠い世界のことと思う人が少なくないかもしれませんが、しかし、茶道や華道、能や狂言、精進料理など日本の文化として根付いているものの中には、禅に由来し、あるいは影響を受けているものが多いことがわかります。最近では、禅の教えや禅語(禅宗の文献などに記述されたことば)を経営や仕事に活用するビジネスパーソンも増えています。生活の中に禅の心を取り入れることで、より豊かな人生を過ごすためのヒントが見つかり、生きる活力にもつながります。作品を通して、禅の世界を見て感じてください。

The Art of ZEN From Mind to Form

1 禅宗の成立

禅宗の初祖、達磨は6世紀の初め頃にインドから中国に渡来し、その教えは慧可(二祖)を経て、慧能(六祖)へと伝えられました。慧能の法系からは数多くの高僧が現れ、臨済義玄は今日の臨済宗十四派および黄檗宗につながる宗祖となりました。



重要文化財 達磨坐像
京都・内福寺 (4/26~5/22展示)

重要文化財 一休宗純像 自賛
京都・恩恵庵(後期展示)

国宝 無準師範像 自賛
京都・東福寺(前期展示)

3 戦国武将と近世の高僧

武田信玄と快川紹喜、織田信長と沢彦宗恩、豊臣秀吉と南玄玄興など戦国時代の武将たちは、禅僧に帰依して指導を受ける一方、時に参謀として戦略の相談や交渉役を任せることもあり、各地の禅宗寺院は大名の庇護を受けて繁栄しました。近世では白隠慧鶴らが禅画を描いて民衆への布教を行いました。



重要文化財 臨済義玄像 一休宗純賛 伝蛇足筆 京都・真珠庵(前期展示)



沢彦宗恩像 自賛 愛知・政委寺(4/26~5/22展示)



織田信長像(部分) 狩野永徳筆 京都・大徳寺 (4/26~5/22展示)

2 臨済禅の導入と展開

日本への禅宗の本格的な導入は鎌倉時代に始まり、武家のみならず天皇家や貴族の帰依を受けて臨済宗を中心に興隆しました。室町時代には、南禅寺を頂点とする五山派が全盛期を迎え、日本の社会に禅宗が定着しますが、応仁の乱によって五山派は衰退し、江戸時代には黄檗宗が伝わりました。



足利義満坐像(部分) 京都・等持院



伊達政宗倚像 宮城・瑞巖寺



大圓覺

国宝 禅院額字并牌字のうち「大円覚」 無準師範筆 京都・東福寺(前期展示)